

多様性社会や地球環境について身近に感じられる オブジェにもなるポーランド・バヨ社の木製遊具 2 種が登場 11月中旬より発売開始

子どもの健やかな成長に「あそび」を通して貢献することを目指し、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、多様性社会や環境について身近に感じられるポーランド・バヨ社の木製遊具 2 種、計 8 商品を、11月中旬より、ボーネルンドショップおよびボーネルンドオンラインショップで発売いたします。

遊びながら多様性社会や環境について身近に感じられる木製遊具が登場



近年、多様性を尊重する動きが社会全体に広まっています。世界的に、性別・国籍・人種・年齢・障がいなど様々な違いを問わず、多様な人材を認め合う社会を目指しています。子どもたちは社会に出ると、世の中には色々な人たちが共存していることを知るようになり、そこで「自分とは違う人がいる」ことに気づきます。みんな違うけれど、みんな大切な存在であることを理解することがこれからの時代を生きる子どもたちにとって重要です。

子どもたちはあそびを通して世界を学びます。そんな子どもたちのために、ボーネルンドでは、遊びながら自然と多様性社会を身近に感じたり、地球環境に興味を持つきっかけになるよう、2 種の木製遊具を発売いたします。

新発売するバヨ社の「バランスゲーム『ユニークな 10 人』」は、10 種類の違った人の形をしたバランスゲームです。眼鏡をかけた人、手や足が 1 本ない肢体不自由な人、大人も子どもも、髪や目の色が違って、お互いに協力して支え合っていることを表現しています。半円型のぐらぐらする土台は、変化していく社会情勢や地球環境を隠し、「それぞれが助け合わないとバランスが崩れてしまうよ」というメッセージが込められています。

また、「アニマルオブジェ『希少な仲間たち』」は、絶滅の危機にある動物をモチーフにした木製オブジェで、今回は、ゾウ、ひょう、オラウータン、パンダ、ホッキョクグマ、サイ、クジラの 7 商品を発売します。現在、地球には密猟など人間の活動や環境汚染により、絶滅の危機にある動物が 30,000 種に上り、子どもたちがよく知っている動物にも、その危機があることを知ってもらうため作られました。部屋に飾ったり、ごっこ遊びで使用したり、共に長い時間を過ごし、親しみを感じることで、自然と地球上に住む他の生物にも関心が湧くようにという願いが込められています。

【バヨ社「バランスゲーム『ユニークな 10 人』」、「アニマルオブジェ『希少な仲間たち』」商品概要】



バランスゲーム「ユニークな 10 人」

10 種類の人の形をしたブロックを積み重ねるバランスゲーム。眼鏡をかけた人、肢体不自由な人、髪や目の色が違う人。ぐらぐらする土台に、それぞれに助け合いながら、積んでいきます。

- 対象年齢：3 歳頃～
- 価格：税込 7,040 円
- 内容：人の形ブロック×10、土台×1
- サイズ：ブロック約 8×9×幅 1.5 cm
土台 18.5×5×2.5 cm
- 原産国：ポーランド
- 材質：セイヨウカエデ、ブナ

アニマルオブジェ「希少な仲間たち」

絶滅の危機にある動物をモチーフに作られた木のブロック。遊びながら自然と地球上の生物に関心が湧くように、という願いが込められています。ゾウ、クジラ、ひょう、サイ、ホッキョクグマ、オラウータン、パンダの 7 商品。

※セット販売ではございません。写真はイメージです。

- 対象年齢：1 歳半頃～
- 価格：ゾウ、クジラ 各 税込 1,980 円、
ひょう、サイ、ホッキョクグマ、オラウータン、パンダ
各 税込 1,760 円
- サイズ：一番大きいサイズ(クジラ)20.5×11×2 cm
一番小さいサイズ(ひょう)17.5×7×2 cm

【バヨ社について】

建築家でありデザイナーでもあるボイテック・バヨール氏によって、1993 年ポーランドに設立。「人としての基礎をつくる大切な幼少期から本物のデザインに触れてほしい」という想いから、ひとつひとつのあそび道具を丁寧に仕上げています。こどもたちの好奇心を刺激するデザイン・色使いはもちろんのこと、安全性を追求した木製玩具を作り続け、ヨーロッパだけでなくアメリカやオーストラリアなどでも幅広く愛されています。

【ポーネランドについて】

ポーネランドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 66 ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千ヶ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では全国 17 ヶ所、年間約 200 万人、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国約 50 ヶ所、年間 350 万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ポーネランド 広報部 担当：西山、村上
TEL：03-5785-0860、080-5901-3591
e-mail：public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ポーネランド
TEL：0120-358-518(月～金 10:00～17:00)